



第13号
2016.9

いつき
だより



夏の一枚

ボランティアさんが種まきをしてくださったヒマワリが満開を迎え
職員と村人さんの記念撮影をしました。
村人が水を欠かさず、育てあげられました。

お知らせ

樹の郷では、大・小会議室を地域の皆様に使って頂けるように
開放しております。下記の番号にお気軽に電話ください。
介護でお困りの方への相談窓口を設置しております。
介護についてのわからないことなどはベテラン職員がご相談に応じます。



編集後記

夏の暑さも過ぎ去りヒグラシの鳴き声が聞こえ、朝・晩の肌寒さを感じる季節になってきました。
お身体には、十分に気付けてください。
これからも、地域に開かれた施設運営をしていけるよう努力してまいります。
皆様のご意見ご要望お待ちしております。

樹の郷は、地域防災福祉避難所に指定されています。ご確認よろしくお願いします。

特別養護老人ホーム 樹の郷

併設事業へのお問い合わせ

TEL 0748-63-2900
FAX 0748-63-2902

樹の郷 ショートステイサービス
 樹の郷 デイサービスセンター
 樹の郷 居宅介護支援センター(ケアプラン)

*掲載写真はご本人、ご家族の承諾を得ています。

樹の郷 では
随时ボランティアさんの
ご協力ををお願いしております。
ボランティアさん
大募集!!



樹の年輪「樹の温もり」絆とともに

いつき
だよい

いつき
樹の郷
さと

第13号
2016.9

毎年恒例

特別養護老人ホーム 樹の郷
ショートステイサービス
デイサービスセンター
居宅介護支援センター(ケアプラン)

〒528-0067 滋賀県甲賀市水口町山3309
TEL 0748-63-2900 FAX 0748-63-2902

ホームページ [信楽福祉会](http://www.shigaraki-itsuki.com) 検索
<http://www.shigaraki-itsuki.com>

いつき だより いきいき活動記録

第13号
2016.9

夏の思い出
アルバム

太陽
の村



暑かったー



アイス美味しいなー

泉
の村



抽選で1等を当てました!
やった!



お肉がおいしくて幸せ~

緑
の村



手巻き寿司を作りました。

流しうめんは、
夏の風物詩
涼をとるには一番です。

きゅうり、
シーキキンなど
納豆、キムチなど
お好みの具を
トッピングして
頂きました!

デイサービス



今日は流し素麺!
天ぷらと一緒に頂きます!!



流しうめんをしました!



うどん冷たくておいしい

光
の村



今日は、お粥もおかわり



ワインナーおいしいです。

月
の村



美味しそうです

まだまだ食べるぞー

大地
の村



はじめてのBBQ~

じょんじょん持ってきてよ

お肉がおいしくて幸せ~

抽選で1等を当てました!
やった!

流しうめんは、
夏の風物詩
涼をとるには一番です。

コラム
コーナー

今号から介護や老人医療にまつわるコラムを掲載させていただきます!

介護アドバイザーTのひとりごと
第1回 健康寿命とは・・・。

先日、あるお方が見て来られた在宅介護に疑問を持たれ、意見を頂戴いたしました。

私自身、介護職時代の思いが「利用者本位」であった為、介護者の立場で物事を考えられない事が今でもあり、それは素直に反省したいと思っております。

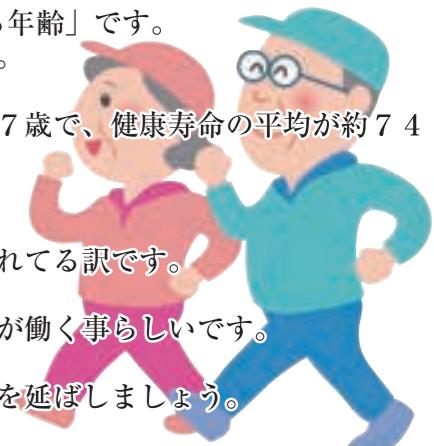
実はこの方のご祖母様が100歳で亡くなられ、そこまで高齢の御両親様が在宅介護されるお姿を見られ、その様子を目の当たりにされ、心が痛んだと意見を頂きました。

私に出来るアドバイスはショートステイ、デイサービス、訪問介護、看護をもっと利用しましょうとしか言えず、それが嫌であったり出来ない方にはどういうアドバイスをさせて頂けばいいのか、勉強になりました。

このご意見には、実は大切な問題が隠されてます。

それは「健康寿命」と言う事です。

健康寿命とは、「健康上の問題で、日常生活が制限される事のなく生活できる年齢」です。
要は日常的に介護、などのお世話にならなくて、自立した健康な期間の事です。



男性の平均寿命が80歳で健康寿命の平均が約71歳、女性の平均寿命が87歳で、健康寿命の平均が約74歳で、男性で約9年、女性で約13年の差があります。
こうして見ると、人間は自立して生きるのは短いですね。

厚生労働省は、健康寿命をのばしましょうと、いろいろな予防対策をたてられてる訳です。

健康寿命を延ばすには、食べ物、前向きな考え方、そして一番ベストの方法が働く事らしいです。
要するに身体と頭を使うと言う事ですかね。
健康に関するサイト、書籍もありますので、いろいろと勉強をされ、健康寿命を延ばしましょう。

みんなの介護
ニュース

www.minnanokaigo.com/

今号はWebサイト「みんなの介護ニュース」から
全国各地で温かなサポートが次々と。
認知症高齢者の支援が目立つ公立図書館
をお届けします

インターネットのウェブサイトや電子書籍のように、デバイスで文字を読むサービスに押され気味の印象
がある図書館。しかし、その場所へ足を運ぶことに付加価値をつける方法が注目されています。たとえば、

神奈川県の川崎市立図書館は認知症の方への支援もしているそうです。

毎回のように貸出カードをつくろうとしたり、同じ質問を繰り返す人など、近年、認知症と見られる高齢
の利用者が目立つため、川崎市立図書館では、安心して過ごしてもらうためのさまざまな取り組みを始めて
いるとのことです。認知症関連書籍を揃えた書棚の設置をはじめ、地域の医療機関や患者の会などの資料を追加。

職員の多くが認知症センター養成講座に参加し、認知症高齢者の方への正しい理解を深め、徘徊する人
には付き添ったりするようになりました。

また、愛知県にある田原市中央図書館では、高齢者関連施設へ懐かしい
風景の写真集をはじめ、紙芝居、童謡や歌謡曲などのCDやカセットテープ
などを貸し出したり、司書が洗濯板や算盤といった昭和の生活用品を持っ
て訪問するサービスなどを展開中。こうした図書館の収蔵品がきっかけ
となり、思い出話に花が咲くため“回想法”的効果が見込まれるといいます。
約3,200カ所ある日本の公共図書館が、認知症高齢者の方の憩いの場となっ
ていくといいですね。

